

**2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東  
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉藤 淳 (TEL) 03-6415-1183  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

**1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)**
**(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)**

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年9月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,146	△6.5	205	△8.1	175	△21.3	112	△17.4
	1,226	5.9	223	11.1	223	11.6	135	2.3

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 △93百万円( -%) 2025年9月期第1四半期 336百万円( 158.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年9月期第1四半期	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	8.02	—
	10.03	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

**(2) 連結財政状態**

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年9月期第1四半期	百万円		百万円		%	
2025年9月期	8,995		6,688		73.6	
	8,791		6,099		67.9	

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 6,621百万円 2025年9月期 5,970百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期 1Q	14,575,300株	2025年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1Q	604,988株	2025年9月期	1,754,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期 1Q	13,970,312株	2025年9月期 1Q	13,520,312株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書) .....	5
(第1四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書) .....	6
(第1四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要となっております。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融・資本市場の変動などの影響にも引き続き注意を要し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の業容拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、当社グループの主力事業であるプロモーション支援事業が堅調に推移した一方で、メディア事業及びソリューション事業では季節要因による反動やスポット案件の縮小に伴い減収となりました。また、プロモーション支援事業の更なる拡大を目的として、金融機関との連携強化や人的資本への積極的な投資を先行して実施し、今後の成長に向けた施策の実行に伴い減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高1,146百万円(前年同四半期比6.5%減)、営業利益205百万円(同8.1%減)、経常利益175百万円(同21.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益112百万円(同17.4%減)となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### [プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、「アクセルジャパン」の中長期的な新規売上の最大化を目的として金融機関パートナーと連携し、効率的に決裁者へアプローチする新規営業を実施しております。2025年9月期下半期より、金融機関パートナーからの紹介による新規契約を獲得する営業手法へ経営資源を集中しており、提携金融機関数の拡大に注力してまいりました。金融機関との提携を拡大しながら、企業紹介から利用開始に至るまで、一連のオペレーションフローの整備に時間を要しておりますが、増員などによる体制強化により、今後の新規売上の増加に向けて高効率な営業手法の拡大が加速しております。また、人材などの経営資源を集中させたことに加え、当第1四半期連結累計期間に計上を見込んでいた売上の一部が、顧客の利用開始時期の調整に伴い2026年9月期第2四半期での計上となったことで、新規売上の計上が一時的に減少したものの、更新売上が好調に推移した結果、增收となりましたが、2026年9月期第2四半期以降はこれまでの施策の結果、売上の拡大を見込んでおります。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高457百万円(前年同四半期比3.3%増)、セグメント利益143百万円(同5.0%減)となりました。

#### [メディア事業]

メディア事業では、ウェブの表現力や利便性を活かした無料で読める電子雑誌を制作・発行し、電子雑誌への広告掲載や、企業のブランド価値向上を目的とした電子雑誌の制作受託サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、旅館や飲食店などの民間企業からの広告売上は堅調に推移しておりますが、前第4四半期連結会計期間に、自治体の予算執行が集中する季節要因による反動に伴い減収となりました。また、販売促進費等の販売費及び一般管理費の最適化により増益となっております。

以上の結果、メディア事業は、売上高477百万円(前年同四半期比6.1%減)、セグメント利益83百万円(同5.8%増)となりました。

#### [ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、ECサポート関連売上は堅調に推移したものの、3Dホログラムなどのスポット案件の売上高減少により減収となりました。なお、減収に伴いセグメント利益も減益となりましたが、高単価のスポット案件の縮小により利益率が改善しております。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高196百万円(前年同四半期比24.1%減)、セグメント利益40百万円(同1.6%減)となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は8,995百万円となり、前連結会計年度末に比べて204百万円の増加となりました。当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

### (流動資産)

流動資産は4,218百万円となり、前連結会計年度末に比べて462百万円の増加となりました。これは主に、売掛金が90百万円減少した一方で、現金及び預金が478百万円、前払費用が67百万円増加したことによるものであります。

### (固定資産)

固定資産は4,777百万円となり、前連結会計年度末に比べて257百万円の減少となりました。これは主に、無形固定資産が13百万円増加した一方で、投資先株式の時価評価に伴い投資有価証券が252百万円減少したことによるものであります。

### (流動負債)

流動負債は874百万円となり、前連結会計年度末に比べて292百万円の減少となりました。これは主に、預り金が30百万円、契約負債が12百万円増加した一方で、未払法人税等が166百万円、賞与引当金が99百万円、1年内返済予定の長期借入金が36百万円減少したことによるものであります。

### (固定負債)

固定負債は1,432百万円となり、前連結会計年度末に比べて92百万円の減少となりました。これは、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が59百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

純資産合計は6,688百万円となり、前連結会計年度末に比べて589百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が209百万円減少があった一方で、自己株式の処分により自己株式が818百万円減少し、資本剰余金が38百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社が保有する投資有価証券の一部売却に伴い、特別利益（投資有価証券売却益）を計上する見込みとなり、2025年11月14日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

詳細は本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の上方修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,767,883	2,245,959
売掛金	1,967,730	1,877,673
前払費用	112,327	179,451
その他	20,762	27,248
貸倒引当金	△112,696	△112,289
流动資産合計	3,756,008	4,218,043
固定資産		
有形固定資産	33,130	34,836
無形固定資産	88,667	102,658
投資その他の資産		
投資有価証券	4,759,112	4,506,909
繰延税金資産	104,008	83,497
その他	50,096	49,725
投資その他の資産合計	4,913,217	4,640,131
固定資産合計	5,035,016	4,777,626
資産合計	8,791,024	8,995,670
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金	153,073	149,473
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	233,129	197,051
未払金	161,009	162,383
未払法人税等	176,103	9,819
契約負債	120,433	133,061
預り金	15,383	46,095
賞与引当金	118,029	18,517
その他	89,701	58,260
流动負債合計	1,166,864	874,663
固定負債		
長期借入金	425,605	392,306
繰延税金負債	1,099,360	1,039,730
固定負債合計	1,524,965	1,432,036
負債合計	2,691,829	2,306,699
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,059,793
利益剰余金	2,306,218	2,309,663
自己株式	△1,248,947	△430,543
株主資本合計	2,699,770	3,559,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,265,378	3,055,710
為替換算調整勘定	5,330	5,808
その他の包括利益累計額合計	3,270,709	3,061,518
非支配株主持分	128,714	67,486
純資産合計	6,099,194	6,688,970
負債純資産合計	8,791,024	8,995,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,226,800	1,146,582
売上原価	363,496	334,540
売上総利益	863,303	812,041
販売費及び一般管理費	639,985	606,826
営業利益	223,318	205,215
営業外収益		
受取利息	15	19
受取遅延損害金	—	226
雑収入	1,148	106
営業外収益合計	1,163	351
営業外費用		
支払利息	757	1,852
為替差損	452	235
株式交付費	—	27,171
雑損失	—	560
営業外費用合計	1,210	29,820
経常利益	223,271	175,747
特別損失		
固定資産除却損	0	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	223,271	175,734
法人税、住民税及び事業税	27,196	6,899
法人税等調整額	51,511	53,415
法人税等合計	78,707	60,314
四半期純利益	144,564	115,419
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,917	3,409
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,647	112,010

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	144,564	115,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190,526	△209,668
為替換算調整勘定	952	477
その他の包括利益合計	191,478	△209,190
四半期包括利益	336,042	△93,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,125	△97,180
非支配株主に係る四半期包括利益	8,917	3,409

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年9月10日開催の取締役会において、SBIホールディングス株式会社、SBINM合同会社及び当社との間で資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）に関する契約を締結し、本資本業務提携契約に基づき、2025年10月1日にSBINM合同会社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分1,150,000株を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が38,345千円増加し、自己株式が818,404千円減少しております、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,059,793千円、自己株式が430,543千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,868千円	11,771千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション支援事業	メディア事業	ソリューション事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	443,004	508,907	258,357	1,210,269	16,531	1,226,800	—	1,226,800
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	443,004	508,907	258,357	1,210,269	16,531	1,226,800	—	1,226,800
計	443,004	508,907	258,357	1,210,269	35,817	1,246,086	△19,286	1,226,800
セグメント利益	151,063	78,911	40,744	270,719	10,745	281,465	△58,146	223,318

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△58,146千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション支援事業	メディア事業	ソリューション事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	457,538	477,300	196,130	1,130,969	15,613	1,146,582	—	1,146,582
外部顧客への 売上高 セグメント間の 内部売上高又は 振替高	457,538	477,300	196,130	1,130,969	15,613	1,146,582	—	1,146,582
計	457,538	477,759	196,160	1,131,457	36,366	1,167,824	△21,241	1,146,582
セグメント利益	143,465	83,456	40,095	267,018	7,615	274,633	△69,418	205,215

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおける  
メディア事業以外の各種受託事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んで  
おります。
2. セグメント利益の調整額△69,418千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費で  
あります。
3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収  
益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (投資有価証券の売却)

当社は、2026年2月4日付の取締役会決議に基づき、2026年2月4日から2026年2月12日の期間で保有する  
投資有価証券の一部を売却いたしました。

## 1. 投資有価証券売却の理由

資産運用の効率化及び投資利益の確定を図るため。

## 2. 投資有価証券売却の内容

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| (1) 売却株式      | 当社が保有する上場株式1銘柄        |
| (2) 売却期間      | 2026年2月4日から2026年2月12日 |
| (3) 投資有価証券売却益 | 2,015百万円（見込み）         |